

平成27年度通所ケアマネジメント研修開催要綱

各デイサービスセンターではケアプランに基づき通所介護計画を作成し、サービスが実施され、通所介護計画を利用者に交付することが義務づけられています。それにより、利用者一人ひとりのニーズや課題に応じた個別のサービス提供が求められ、なおかつ、ケアプランとの連動、計画の実施・評価・再計画など各センターにおいて対応していかなばなりません。そこで、本研修はサービス提供の基本・根拠となる通所介護計画作成にかかる課題について検討・協議し、通所介護計画作成技術の向上とより質の高いサービスに繋げることを目的に開催します。

- 1 主催 北海道デイサービスセンター協議会
- 2 共催 社会福祉法人北海道社会福祉協議会／北海道老人福祉施設協議会
- 3 後援 北海道(予定)

4 とき **平成27年11月18日(水)** ※受付は9:00から

- 5 ところ **道民活動センター(札幌市中央区北2条西7丁目 かでの2・7)**
※基礎編・実践編ともに受付は4階大会議室で行います。
基礎編:4階 大会議室 / 実践編:10階 1060会議室



6 参加対象・参加定員

- (1)参加対象 デイサービスセンター職員(生活相談員、介護職員、看護職員、機能訓練指導員等)
- (2)参加定員 150名 (道デイ協会員を優先とし、定員になり次第締め切ります。)

7 参加費 (※参加費は当日受付にて徴収し、参加費領収証を発行いたします。)

会員 5,000円 (道デイ協/道老協の会員) **非会員 10,000円**

8 申込みについて

- ・ 受講コースが基礎編と実践編に分かれています。さらに実践編は**通所介護グループ**と**介護予防通所介護グループ**に分かれますので、ご希望のコースを選択ください。研修当日の受講コースの変更等は不可です。ご了承ください。
- ・ 「参加申込書」に必要事項をご記入の上、下記宛にFAXにてお申込みください。
- ・ 当日のお弁当(お茶付き800円)の斡旋を行っております。ご希望の方は「参加申込書」の「弁当購入」欄に○印をつけてください。

●**申込締切日 平成27年10月30日(金)まで**

<お申込み先・お問合せ先>

北海道社会福祉協議会 施設経営支援部 施設福祉課 (担当 葛野・佐藤)
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 北海道社会福祉総合センター
TEL 011-241-3766 FAX 011-280-3162



基礎編

対象：通所介護計画作成担当に携わる経験年数が概ね1年未満の方、あるいは経験年数は長いですが、作成に携わる業務量の少ない方で、基礎的な知識を学びたい方は基礎編をお選びください。

会場：4階 大会議室

【参加にあたっての留意事項】

次の資料をご用意ください。

- ① 施設のプロフィール（パンフレットなど）
- ② 事業所で使用している通所介護計画書の原本（未記入のもの）

①・②をそれぞれ6部お持ちください。（グループメンバーに配布）演習後に計画書様式の参考資料として、グループの方々に配布されたものはお持ち帰りいただく予定です。

※コピーについて当日の事務局では対応は出来ませんので、忘れずにご持参ください。

9:00~	受付（4階大会議室前）
9:50~	開会・オリエンテーション
10:00~ 12:00 (120分)	<p>講義「介護のアセスメントと通所介護計画」 効果的な通所介護計画を立案するための、居宅介護サービス計画書（ケアプラン）の読み取り方、介護のアセスメントと作成から評価までの基本を学びます。 講師：北海道デイサービスセンター協議会 研修実行委員 岸田 喜幸</p>
	<p>(1) 通所介護計画書策定の基準と課題 (2) 居宅介護サービス計画書（ケアプラン）と連動した通所介護計画書の作成から評価までの流れ ①ケアプランの読み取り方 ②通所介護計画作成時におけるアセスメントの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICFに基づく生活の捉え方 ・認知症の人のアセスメント ・デイサービスの特色を生かした視点
休憩	(60分)
13:00~ 15:30 (150分)	<p>グループ演習 通所介護計画作成の意義を踏まえ、事例によるケアプランを基に、通所介護計画の作成過程について演習を行います。ここでは、通所介護の支援目標についての再確認を行いながら、ケアプランを通所介護計画へ反映させるための視点を学びます。 講師：北海道デイサービスセンター協議会 研修実行委員 岸田 喜幸</p>
15:30	質疑応答（20分）
16:00	閉会

B-2 暮らしの情報(私の生活史シート) 名前 記入日 20 年 月 日 / 記入者

◎私はこんな暮らしをしてきました。暮らしの歴史の中から、私が安心して生き生きと暮らす手がかりを見つけたい。
※わかる範囲で住み変わってきた経過(現在一過去)を書きましょう。認知症になった頃に点線(.....)を引いてください。

私の生活歴(必要に応じて別紙に記入してください)

暮らしの場所	私の	私の願いや 支援してほしいこと
--------	----	--------------------

通所介護計画書②

利用者氏名	漢字 假	生年月日	昭和○年○月○日	住所	北海道○○市○○
No	解決すべき課題(ニーズ) (居宅サービス計画書より転記)	要介護2	電話番号	○○○-○○○-○○○○	
K-1		目標(長期)	期間	目標(短期)	期間
K-2					
K-3					
解決すべき課題(ニーズ)		サービス内容			
※サービス 番号	通所介護での具体的ニーズ	No	内容	介護内容	
No	No	課題(ニーズ)			

※演習及び発表の時間配分については、参加者人数により変更することがございます。



実践編

対象：経験年数が概ね1年以上で、さらに知識を深めたい方は実践編をお選びください。
 実践編ではご持参される介護計画書が、介護予防通所介護計画書か通所介護計画書でグループ分けを行います。

会場：10階 1060会議室

【参加にあたっての留意事項】

次の資料をご用意ください。

- ① 施設のプロフィール（パンフレットなど）
- ② 通所介護計画書もしくは介護予防通所介護計画書（困っている事例やユニークな事例などグループで討議しアドバイスをしてもらいたい通所介護計画）
- ③ 上記計画書に関連したアセスメント（利用者情報のことです。ケアマネジャーからのアセスメント情報以外に事業所が独自で作成しているものがあればそちらを優先してください。）
- ④ 上記計画書に基づいて記載した実施記録（グループ討議の際に参考資料とします。記録の回数は問いませんので、参考になると思われる回数分の記録をご持参ください。）

①・②・③・④をそれぞれ6部お持ちください。（グループメンバーに配布）演習後にグループメンバーに配布されたものはお持ち帰りいただく予定ですので、個人が特定できないように、固有名詞等は塗りつぶすなど、十分な配慮の上、コピーしてください。

※コピーについて当日の事務局対応は出来ませんので、忘れずにご持参ください。

9:00～	受付（4階大会議室前）
9:50～	開会・オリエンテーション
10:00～ 10:50 (50分)	講義「通所介護計画書作成のヒント」 講師：社会福祉法人 釧路町富喜会法人本部事務局長 吉原 義和 氏
休憩	(10分)
11:00～ 15:30 (昼食休憩 60分含)	グループ演習 講師：社会福祉法人 釧路町富喜会 法人本部事務局長 吉原 義和 氏 ファシリテーター：医療社団法人豊生会 人材育成部介護教育室室長 近江谷 伸一郎 氏
	<div data-bbox="320 1529 1093 1809" data-label="Text"> <p>参加者が通所介護計画（介護予防通所介護計画）で悩んでいること、アドバイスしてほしいことを、他のメンバーがスーパーバイザーとなって意見を交換し、発表者が自ら解決の糸口を見つけたり、自分の実践のヒントを得たりして、最終的に元気になってもらうことをねらいとする。各自が持ち寄った通所介護計画をグループで討議します。</p> </div> <div data-bbox="1114 1352 1437 1666" data-label="Image"> </div>
15:30	質疑応答（20分）
16:00	閉会

演習及び発表の時間配分については、参加者人数により変更することがございます。